■論点

筆者の主張（本文より）

○This could be both through its effects on resource distribution of cognitive resources and values which will shape how individuals and groups interpret such situations, and whether they do this in ways that engender racism and intolerance. （p.89 l.20）

⇒**リソース分配・リソース競争に教育が及ぼす影響という観点、また個人・グループの認知や行動の基盤となる認知資源や価値観を教育が分配するという観点を考えることで、教育の不平等と寛容の関係を考えることができる**

**現実的葛藤理論で既に言われている。**

**筆者独自の視点!!!!!**

寛容

教育

**②認知資源**

**価値観**

**①リソース分配**

**リソース配分**

＜考えられる教育と寛容のメカニズム（本文より）＞

・認知資源（cognitive resources）に関する記述

○It may be helpful, then, to see values and cognitive resources as jointly part of a process of formation racial tolerance.（p.87 l.6）

…価値観と認知資源を共に民族的寛容の形成の過程とみなすことは有益かもしれない

-----------認知資源と関係のありそうなものに関する記述------------

・認知的スキル（cognitive skills）

○Education leads to increased cognitive skills involving enhanced abilities to categorize, understand causal relationships and perceive states of the world.（p.84 l.28）

…認知的スキルは、因果関係を分類・理解したり、世界の状態を正しく知覚する能力に関係

・高度な認知（cognitive sophistication）

○Sniderman and Gould see the process of racial tolerance as the interaction of values acquired through socialization, values invoked at the moment of choice at the moment of choice, and cognitive sophistication.

…民族的寛容が広がるプロセスを、社会化を通して獲得される価値観・選択の際に用いられる価値観・高度な認知の相互作用とみなす

　　　　　　　　　　　　　　　　　　社会化を通して獲得される価値観

　・民族的寛容が広がるプロセス＝　　選択の際に用いられる価値観　　　　の相互作用

　　　　　　　　　　　　　　　　　高度な認知（cognitive sophistication）

* 教育の影響　　長期での価値観形成

　　　　　　　　　　　　　　　　　　どんな行動を起こすか＝価値観の行使

⇒「より高い認知スキルが身に付くと、寛容のレベルも高くなる」という関係性！

　これを踏まえると認知資源とはどういうことなのか？

★「認知資源」と言う言葉を調べてみると「頭を使う時の原動力」のような意味だが、ここでは文脈に合わない気がする…

**本文中で述べられている認知資源とはどのようなものだろうか？**